

ーム、まちづくり検討プロジェクトチームの5つを立ち上げる。今後も各課への調査やヒアリング等を行い連携を図っていく。

問 グランドデザインの策定について伺う。

答 まちのイメージを共有することが大切であると考え、まちの将来ビジョンとなるグランドデザインを策定する。まちづくりの基本理念や目標、計画実現に向けた各計画に位置づける取組の概要等を未来の西東京のまちの姿としてイラスト等を使って示すことを想定しており、総合計画ではまちづくりのソフト部分、都市計画マスタープランではハード部分を表現したイメージを考えている。デザインは令和5年7月頃を目途に案を取りまとめる。

問 多摩地域のトップランナーという意識を持って早急に給食費無償化を行うべきと考えるが、見解は。

答 国に対して法改正等も含め学校給食費の完全無償化に向けた対応を望む要望を上げた。国及び都の動向を注視しつつ財源確保について調査研究していく。

意見 行革を進めており財源はあると考える。食育という、子どもが真ん中の政策を市長は訴えている。市長の判断で実現し前へ進めてもらいたい。

問 高校生等までの医療費負担ゼロについて、通院1回につき200円の実費負担はまだ残っている。23区は全面無償化となる。武蔵野市府中市、調布市、あきる野市は所得制限撤廃、通院200円撤廃とする。本市も早急に決断してほしい。見解は。

答 医療費無償化は東京都

市長会を通じて協議の場のスケジュールが示された。引き続き都や国へ要望する。意見 武蔵野市、府中市、調布市のようにしっかりと取り組んでほしい。



平和のリング

問 非核・平和都市宣言に基づく各種取組の課題は。問題解決のための取組は。

答 平和推進に関する条例の制定、非核・平和都市宣言、平和の日の記念事業などを行っている。

意見 戦争の記憶を消してはならない。市長の進める恒久平和の願いを引き続き進めていただきたい。

問 新型コロナウイルス感染症対策、ワクチン接種の進捗状況と今後の接種体制と医療機関の状況は。

答 接種の継続が了承された。追加接種のスケジュールは、追加接種可能な全ての年齢の方を対象に秋から冬にかけて1回接種を行い、重症化リスクが高い高齢者及び基礎疾患を有する方、医療機関や高齢者施設等の従事者の方は、春から夏にかけて前倒しして1回接種を行う案が了承された。医師会と協議を行い必要な体制確保に努める。

問 「ゼロカーボンシティ」に向けたこれまでの取組は。

答 本市は令和4年2月にゼロカーボンシティを宣言し、ガイドラインを策定し脱



ちぎゅうくん

炭素社会の実現に向けた取組を推進する。

問 こども基本法を踏まえた取組などは。

答 平成30年10月に施行した子ども条例の理念を生かし、推進する側面を備えた子育て・子育てワイワイプラン後期計画を策定、実施国や都の動向に注視しつつ10年間の次期計画の策定に向け準備する。

意見 子どもの意見はより子どもに近いところにいる基礎自治体がかかっている。政府に向けて積極的に子どもの意見表明を発信したほうがいい。

問 M U F G P A R Kは地域における新しい交流広場となるかが期待されている。市としての銀行との関わり、オープンに向けた調整、交通面での安全対策は。

答 一般開放に向け、令和3年5月に三菱UFJ銀行と連携・協力に関する協定を締結した。地域住民、学校、事業者等との調整をはじめ、周知等について連携する。一般開放に向けた準備会を設け、庁内関係部署が銀行関係者と開園後の施設利用等に関する調整を進めている。安全対策は、施設沿道の西側に歩行者通路の整備を進め、交通整理の誘導員を配置するなど対応を図ると伺っている。

意見 M U F G P A R Kは災害時に大きな地域資源になると思う。共同避難訓練の検討を。

問 連続立体交差化の進捗状況、今後の事業スケジュールは。田無駅から花小金井駅周辺の連続立体交差事業は。また、西武池袋線大泉学園駅からについても進

めるべき。市長の考えは。答 昨年8月に書面開催方式による用地測量等説明会を開催。令和5年度までに都市計画事業認可を取得する予定。事業期間は事業認可取得から約15年間。西武新宿線井荻駅から西武柳沢駅付近、田無駅から花小金井駅付近、西武池袋線大泉学園駅から保谷駅付近、ひばりヶ丘駅から東久留米駅付近、この4区間が鉄道立体化の検討対象区間として位置づけられている。多摩北部都市広域行政圏協議会を通じて都や西武鉄道株式会社に対し要請活動を行ってきた。まずは都が施行する準備区間である井荻駅から西武柳沢駅間を着実に進める。その他3区間は引き続き早期実現に努める。

意見 田無駅周辺の連続立体化は、花小金井駅周辺の小平市民の方々の意見交換など市の垣根を越えた活動も始まっている。積極的に取り組んでほしい。

問 都市計画道路3・4・9号線、北原町の谷戸新道周辺の進捗、また谷戸新道交差点の渋滞対策は。

答 現在の用地取得率は約6割。交差点部分は交通開放後抜け道として利用され、歩行者との接触の危険性などから安全対策について要望がある。旧道への進入や歩行者や自転車の通行について注意喚起をする看板が複数箇所設置された。今後とも都及び田無警察署に要望していく。東大農場通り交差点の信号機及び横断歩道の設置検討を都へ伝え、改善を要望している。

問 商店街への防犯カメラの設置支援の内容と目的は。防犯カメラは犯罪の抑

止だけではなく犯人検挙にもつながるなど地域の安全・安心に寄与する。令和5年度から設置、更新を補助対象として追加した。意見 駅前なども防犯カメラの設置を市が積極的に進めてほしい。

問 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の取組と、その意義、現状は。西東京ふるさと探究学習の取組、期待することは。

答 小中学校7校をコミュニティ・スクールに指定し、学校運営協議会の委員にPTA役員や青少年育成会、児童委員、避難所運営協議会、学校施設開放運営協議会、おやじの会などの方々を任命している。校内外の環境整備や安全見守り活動、休日の学校飼育動物の世話など様々な御支援をいただいている。地域の特色を生かした新たなカリキュラムを教育課程内に位置づけ、教員が地域と積極的につながり、関わりを深め、目指すべき児童生徒の資質、能力を地域と共有し、その育成に向けて指導力の発揮を期待している。

意見 G I G Aスクール構想やICT教育もある中、経験の貧困にならないよう進めてほしい。

問 職員が積極的に地域へ出向きつなげる必要性と、庁内の機運を生み出すための取組と研修体制は。

答 第3次総合計画、各種個別計画の策定過程でも、アウトリーチの手法を取り入れるなどの試みも実施している。

意見 職員が地域に出ていくことは大事で、各地域特有の課題や具体的な施策に関する意見は貴重だ。

議会 NEWS ①

採択された陳情への市の対応

市議会で採択された請願・陳情は、市長や教育長に送付され、その後の検討経過を市議会に報告することとなっています。ここでは令和4年に採択または趣旨採択された陳情について市からの報告をお知らせします。

Table with 4 columns: Item Name, Adoption Date, Item Description, and Reason. It details two petitions: one regarding COVID-19 vaccine information and another regarding diversity and gender equality measures.